

MAGAZINE

2013 No.51



卷頭特集

Shizuki
Asato

Tea Party

2013年5月13日(月)・大阪 / 5月27日(月)・東京

今年もさまざまな企画で
プレゼント盛り沢山!!

今年の「ティーパーティー」では、全員プレゼントの「特製お箸」をはじめ、さまざまなコーナーでプレゼントが盛り沢山!来年も是非、「ティーパーティー」に遊びにいらしてください。



「プレゼント抽選コーナー」では「夫婦善哉」ぜんざいを差し上げました。



善光寺下見の際に「ティーパーティー土産」としてゲットしてきた「唐辛子」。



「オダサククイズ」最高得点者に贈られた姿月直筆サイン入り「夫婦善哉」文庫本。

今回のティーパーティーのコーナー企画、「オダサククイズ」。会場で実際に出題されたクイズの中から、10問を掲載しました。ティーパーティーに参加したつもりであなたも挑戦してみてください。

オダサククイズ

次の内、オダサクはどれ?

- 1 ①織田作ノ助 ②織田策ノ助
③織田作之助 ④織田策之助

次の内オダサクの作品はどれ?

- 2 ①走れメロス ②女の一生
③緋色の研究 ④夫婦善哉

次の内、姿月演じるオダサクの姉はどれ?

- 3 ①タツ ②サキ
③カズエ ④ジュンコ

次の内、オダサク内によく出てくるキーワードはどれ

- 4 ①デトロイト ②デカダンス
③メントス ④ナポリタン

次のうち、無頼派でない作家はだれ?

- 5 ①織田作之助 ②太宰治
③坂口安吾 ④森鷗外

6

オダサクは、現在でも天候に関する
○○男といわれています。それは次のうちどれ?

- ①晴れ男 ②雨男
③風男 ④雪男

7

オダサクが好きだった嗜好品の中でも
特に有名なものは?

- ①煙草 ②コーヒー
③お酒 ④甘いもの

8

次の内オダサクの誕生日はいつでしょう?

- ①8月26日 ②9月26日
③10月26日 ④11月26日

9

次の内、オダサクが影響を受けて、
小説家に転向するきっかけとなった小説家は誰?

- ①ボリス・ヴィアン ②アルペール・カミュ
③スタンダール ④ノヴァーリス

10

次の内オダサクの処女作はどれ?

- ①道 ②夫婦善哉
③青春の逆説 ④雨

答えは次ページ「ザ・オダサク」レビューページに記載されております。



巻頭特集

Shizuki Asato
Tea Party

大阪会場

「数字でドン!」
ティーパーティー恒例

2ケタの数字を思い浮かべ、その数字が姿月と一致すると、2ショット写真が撮れるお楽しみ企画です。大阪会場では、何度やっても該当者が出ず、ティーパーティー終了間際に、もう一度行つて、やっと決まりました。一方、東京会場では、1回目で見事数字が一致しました。数字が当たった方へお伺いしたところ、なんと、この「数字でドン!」を行うようになってから、ずっと同じ数字を書き続けてきたとのこと。みなさんも参考にされてみてはいかがでしょうか。

姿月と心を通わせよう

続いては、会場内のスクリーンに映し出された写真をみながらのお話です。写真は、前号50号に掲載された軽井沢へ下見に行つた時のものです。軽井沢ツアーの日程順に写真が組み立てられており、大きな唐辛子と姿月の写真になったところで、この唐辛子をかけてのミニゲーム「○○といえどクイズ」となりました。キーワードを聞いて、思い浮かんだものが姿月と同じ答えなら正解です。すべての問題が終わり、答え合わせの時間となり



↑善光寺土産の唐辛子のプレゼント。
←「ザ・オダサク」特製フォトのご紹介。

お土産は「お箸」

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、今年のティーパーティーも終わりの時間を迎えてしまいました。お帰りの際は、前回の会報でもお伝えしました、特製お箸

のプレゼントと姿月の握手でお見送り。今後も会員の皆さんにお楽しみいただくべく、いろいろと企画していきたいので、今回来ていただいた方はもちろん、残念ながら来られなかった方も、次回のティーパーティーには、ぜひご参加いただければと思います。

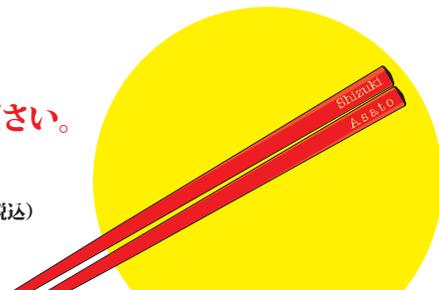
今回のティーパーティーでプレゼントいたしました「特製お箸」を、特別に誌上販売致します。P.14の通信販売の要項をご覧ください。

数量限定

Shizuki Asato
Tea Party

特製お箸

特別価格 **800円** (税別)





音楽劇「ザ・オダサク」 小物ギャラリー



シーン1



オダサクが学生時代のころタツの衣装。お弁当の包みにはタバコも入っています。後の2シーンよりお弁当箱が大きい所はオダサクの若さを表しているかのようにです。

「ザ・オダサク」の世界観を作り出しているのは大掛かりなセット、演技をする役者の皆さん…だけではありません。ここでは、姿月登場シーンごとの衣装や小道具を、Club-Z会員の皆さんだけに特別にご紹介しちやいます！



シーン2



このシーンでは、オダサクの家に、米や家賃の取り立て屋がやってきたところにタツがちょうど出くわします。取り立てとタツのやりとりがテンポよく笑いのあるシーンでした。



シーン3



タツ最後の登場シーンで着ている衣装。白の着物により、今までの場面とはガラリと印象が変わります。そしてタツの心情を歌う「私の人生」もこの場面で披露しています。



ザ・オダサク The Odasaku

1943-2013
織田作之助生誕100年 青春グラフィティ 音楽劇 Sakumizu Oda, 100th Anniversary

男オダサクここにあり!

「夫婦善哉」で有名な作家、織田作之助の生誕100周年を記念して公演された音楽劇「ザ・オダサク」。姿月は織田作之助の姉のタツを演じました。
姿月にとってこの舞台は、とにかく初めてだらけのものでした。ここでは「初」尽くし、「ザ・オダサク」について迫っていきます。

初めての関西弁

数多くの舞台に出演してきました姿月ですが、関西弁での演技はこの公演が初めて。共演者の多くも姿月同様、関西出身の方々に、稽古中なども自然と関西弁が出てくるのですが、「一口に関西弁といっても地方によりイントネーションなどに差があるらしく、姿月が普段使っていた比較的ゆつくりめにしゃべる関西弁から舞台で使われるイントネーションに慣れるまで少し時間がかかったとのことでした。

初めての着物

劇中の舞台は昭和初期。登場人物の中には着物を着ている方もいます。姿月演じるタツもその一人です。こちらも姿月の長い舞台生活の中で初めてのこと。宝塚時代は男役だったので、「男役とは」帯の結び方も違うし、舞台上で着るのは初めてと言っていました。

初めての高所

ご覧になってない方は、なんのこたかとお思いになるかと思いますが、劇中にタツが「私の人生」という曲を歌う際に立っていた場所は、舞台の非常に高いセットの上。

「ザ・オダサク」はセットも凝っていて、舞台の前後左右だけでなく、高低差も利用した作りになっています。そのため、姿月も各席から見上げるほどの高さから歌っていました。やはり姿月曰く、「こんな高い所で歌ったことはない」とのこと。

歌う場所のインパクトもさることながら、「私の人生」という曲は、タツの心情、そして姿月の歌声と合わさって、聞く人すべての心を揺さぶる感動のナンバーとなりました。



初めての共演者

今回の「ザ・オダサク」は、出演しているほぼ全員が、姿月との過去の共演がないという珍しい舞台。姿月も、稽古の合間に行われましたパンフレットのインタビューにて、「とても楽しみです」と答えていました。稽古も終わりを迎えるにつれて、姿月が歌唱指導をするなど、キャスト間の結束が強くなっていく様子が見えがきました。

オダサククイズ 答えあわせ

- | | | | | |
|----------|----------|--------|-----------|-----------|
| 1.③織田作之助 | 3.①タツ | 5.④森鷗外 | 7.①煙草 | 9.③スタンダード |
| 2.④夫婦善哉 | 4.②デカダンス | 6.②雨男 | 8.③10月26日 | 10.④雨 |